

【2023 年 6 月 2 日】  
送付枚数 本票含め 2 枚

報道機関 各位

## 山口大学地域防災・減災センターが公益財団法人鹿島学術振興財団の 2023 年度特定テーマ研究助成に採択

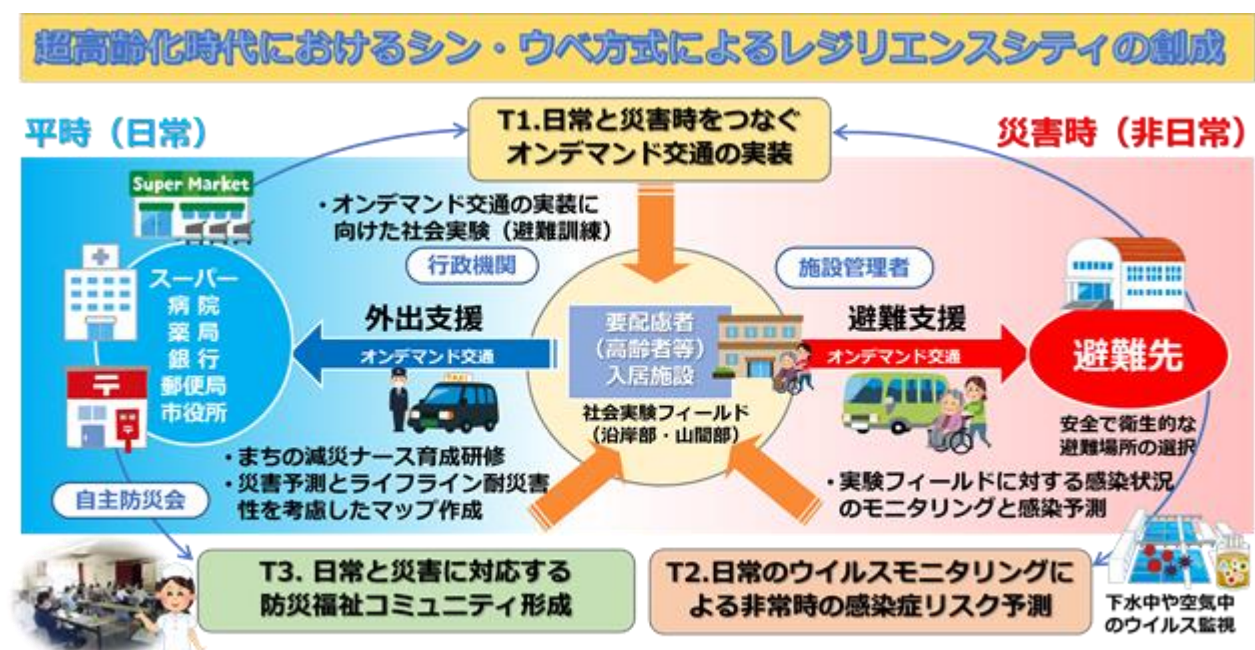
山口大学地域防災・減災センター（地域レジリエンス研究センター 防災・減災グループ）はこの度、公益財団法人鹿島学術振興財団が複数分野の研究者グループによる挑戦的な分野横断／融合研究を支援するために新設した特定テーマ研究助成に応募し、研究課題「超高齢化時代におけるシン・ウベ方式によるレジリエンスシティの創成」が採択されました（研究代表者：鈴木素之 山口大学大学院創成科学研究科教授、地域防災・減災センター長、2023 年度助成金額：870 万円）。

### 【概要】

山口大学地域防災・減災センターでは少子高齢化が進んだ地方都市の防災対策、医療介護問題、そして感染症対策などの問題を連動して解消するため、持続可能な都市社会モデルの構築に取り組んできました。

この度当センターでは、自然災害と感染症拡大に対処するため、山口大学常盤キャンパス・小串キャンパスがある宇部市が 1970 年代に全国に先駆けて取り組んだ産・官・学・民一体の取り組みである「宇部方式」を発展させ、工学と医学の分野横断かつ産学官民が連携した「シン・ウベ方式」を新たに提案します。個々の高齢者施設や高齢者にカスタマイズされた誰一人取り残さない支援モデルを、宇部市と連携して全国の他の地方自治体に先駆けて構築していきます。

本研究課題では以下の 3 つのターゲットを設定し、相互に連動して取り組むことでレジリエンス（回復力）を備えた社会モデルを創成することを目標とします。



### **ターゲット 1 (T1)：日常と災害時をつなぐオンデマンド交通の実装**

車社会の地方都市において、公共交通の利用者の多くは高齢者ですが、超高齢化と公共交通インフラの弱体化が急速に進んでいます。そのような中、在宅の高齢者は身体能力の低下、運転免許の返納、介助する家族の不在等により、日常の移動に不便を抱えていることが少なくありません。また、日常のみならず災害時に適切な時期に適切な方法で避難することは容易ではありません。近年、人口密度の低い地域を中心にドア・ツー・ドア型のオンデマンド交通が導入され、長距離の歩行が困難な高齢者の支持を得つつありますが、このオンデマンド交通のシステムを災害時の避難支援に活用することで、避難行動要支援者の自宅外避難の促進を目指します。

### **ターゲット 2 (T2)：日常のウイルスモニタリングによる非常時の感染症リスク予測**

日常的に下水や空気中のウイルス濃度をモニタリングすることで、わずかな濃度上昇からウイルス感染者の存在を早期に発見する仕組みを構築します。これを利用することで、高齢者施設等でのクラスターの発生を未然に防ぐことが可能となります。また災害時には、下水中からウイルスが検出されなければ避難所等の施設の安全性が確認できるため、高齢者が躊躇なく避難所等へ避難することが可能となります。

### **ターゲット 3 (T3)：日常と災害に対応する防災福祉コミュニティ形成**

災害等の突発的な事象へ対応するためには、平時からコミュニティ共助の防災活動を推進しておくことが重要です。校区単位で「まちの減災ナース育成研修」を行うことで、地域に在住する看護職などの専門家と自主防災組織、住民等との繋がりができます。これにより、住民主体で平時から防災活動や福祉活動などの地域活動に積極的に取り組む、防災福祉コミュニティが形成されることが期待されます。

また、災害時の高齢者避難にあたっては、安全な避難経路を選択したり、より断水に強い避難施設を選択したりする必要があります。このため、宇部市と協力して配水管の経過年数や耐震化率をマッピングし、さらに数種類のハザードマップと重ね合わせることで、複数種の災害に強い避難施設の位置や地震災害に対して脆弱なエリアを抽出して避難施設の将来計画に結び付けるほか、任意地点からの避難施設への移動ルートを迅速に表示するような「ライフラインの耐災害性を考慮したハザードマップ」アプリの開発を目指します。

#### **【お問い合わせ先】**

山口大学地域防災・減災センター

担当：山本

〒755-8611 山口県宇部市常盤台 2-16-1

TEL：0836-85-9348

FAX：0836-85-9301

E-mail：cldpm@yamaguchi-u.ac.jp

HP：https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~cldpm/index.html

**発信者** 国立大学法人山口大学総務企画部  
総務課広報室

〒753-8511 山口市吉田 1677-1

TEL：083-933-5007

FAX：083-933-5013

E-mail：sh011@yamaguchi-u.ac.jp